

V. 特記事項

1. 建学の精神を基調とした女子大学ならではの教育

本学の個性・特色は、建学の精神を基調とした女子大学ならではの教育にある。「建学の精神」は、1年次の必修科目であり、本学の建学の精神に対する理解を深めるとともに、アクティブラーニングも一助として組み入れ、その精神を体得していく科目となっている。建学の精神における教育の目標「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」の実現を骨子とした授業科目として、「建学の精神実践講座」を開設し、1年次から4年次までの各学年で必修としている。「建学の精神実践講座」では、「女性のライフデザイン」「OG講演」「女性としてのマナー」「女性の自立と就労」など、女性としての生き方・働き方に関わる授業を通じて、現代の女性の生き方について主体的に考え、また、「鎌倉史跡めぐり」「芸術鑑賞」など、本物の芸術・文化に触れる授業を通じて、女性の中にある豊かな感性を育み、教養を高めることが可能となっている。このほか、「女性と文化」「女性と健康」などの授業科目を開設している。

2. 「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の配置

本学のカリキュラムの特徴は、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」を配置しているところにある。これは、情報や価値が乱立する多様化した時代にあって、将来を模索しながら就学過程を歩む学生一人ひとりに複合的なカリキュラムを提供し、自らの希望と判断に基づき、より広い可能性を開くことができるようにするものである。「免許・資格プログラム」は、家政・養護・栄養・衛生・教育・保育・心理といった分野で活躍する専門職を目指す学生のための履修モデルであり、多彩な免許・資格を複数取得することが可能となっている。「企業学習プログラム」は、一般企業などで活躍しようとする学生のための履修モデルであり、企業に関する知識やビジネスで求められる技術等を修得することが可能となっている。多くの学生が「免許・資格プログラム」又は「企業学習プログラム」に沿って履修し、学びを生かして就職しており、令和2(2020)年度の学部全体の就職率は97.9%と高い水準になっている。特に、例年、約4分の3の学生が保育士・教員、管理栄養士として就職しており、全国のランキングでも上位に入っている。

3. 幼稚部から大学院まで擁する総合学園ならではの学園内連携

本学は、幼稚部、初等部、中等部、高等部、短期大学部、大学、大学院を擁する総合学園であり、建学の精神のもと、学園内連携を図っている。具体的には、学園祭における大学・短期大学部と併設校の相互交流、各学科の「教育実習」「保育・教職実践演習（フィールドワーク）」等の授業科目の併設校での実施、児童学科の学生による幼稚部未就園児クラスへの保育参加、大学教員による大船キャンパス東山ビオトープでの初等部の児童への理科教育、高等部の生徒への「学校推薦型選抜（併設校）」や高大連携授業の提供、大学教員による併設校の卒業予定者への「卒業記念講演」、大学教職員による併設校の保護者への「併設校特別講演会」、機関誌「緑苑」における教科教育をテーマとした初等部から大学までの教職員による座談会、各所属長が出席する「全学連絡協議会」における学園全体の情報共有などがある。